

米沢市まちづくり総合計画後期基本計画（案）に係るパブリック・コメントの結果

1 募集対象計画等

米沢市まちづくり総合計画後期基本計画（案）

2 募集期間

令和2年12月1日(火)～令和2年12月21日(月)

3 意見の提出者数及び件数

提出者数 35名／提出件数 108件

4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

米沢市まちづくり総合計画後期基本計画（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
1	全体	14、 21～ 27	人口減少について、今までの考えをちょっと変えてみる こと、疑問を持つことが大切だと思います。人口減少は、 とても重大です。色々な分野から検討し、その原因を細かく 分析してほしいです。例えば、職場がない、雪の問題、子育てし にくい等々、結婚や出産など多方面から考えられます。	ご意見に例示されているとおり人口減少の要因は様々なもの があり、個別の課題をできる限り解決し、まち全体の魅力を 上げることが人口減少対策になるものと考えています。 本計画の後期重点事業（21～27 頁参照）では、重点的に 取り組む 12 の事業を掲載していますが、それらすべてが「 <u>人口 減少社会への対応</u> 」につながるものと表しています。 なお、今後、具体的な事業を計画するに当たっては、 人口減少社会への対応を強く意識して取り組んでいきます。	総合政策課	無
2	全体	108	地域活性化に向け、様々な専門家を集め会議等をする など、市役所外部の力を活用することはできないでしょうか。 それが難しい場合には、若手の力を使った地域活性化の取組 をしてほしいです。	地域の課題解決や活性化を図るために、外部人材や若者の 活用は有効であると考えています。 施策での取組 6-3-1 の 4 番目の項目を次のとおり修正 します。 ○行政や地域活動等に学生や若者など様々な市民や外部 人材の参画・参加を促進することで、活力あるまちづくりを 推進します。	総合政策課	有
3	全体	-	新型コロナウイルスによる社会情勢の変化に伴い、各市町 村の財政状況が悪化する中、皆が安心して暮らせるまちづく りのため、後期基本計画の見直しを図る必要があると考えま す。米沢市の経済を支える分野は主に、観	本計画の策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影 響も考慮して検討してきましたが、状況に変化があれば施 策に捉われず適切に対応していきます。 また、本計画の内容を市民と共有できるよう努め、市	総合政策課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			光業、飲食業で、共にコロナの影響で危機的な事態に直面しています。全国的にもそうですが、逼迫した医療体制、未来を見据えることより、今私たちに何ができて、どう行動し生活していくのかを皆で学び、理解し考えることが、新しい米沢市の一步に続く大きな道になるのではないかと思います。	民と行政が協働でまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。		
4	全体	-	米沢市まちづくり総合計画・後期計画というのは、市民の役割等が書いてあるので、市役所内部だけでなく、市民に内容を理解してもらう必要があると思います。 その観点からみると、国が打ち出した用語(?)をそのまま使う(例:Society5.0の実現、GIGAスクール構想、RPAなど)と、そもそもなんのこと?ということになりかねないので、もう少し丁寧な説明があってもいいなと思いました。(前期計画のように用語解説が資料としてつくのでしょうか?)	ご意見のとおり、計画の内容を市民と共有することが重要であると考えています。前期計画のように計画の冊子にする際には、専門用語等の解説を資料として添付します。	総合政策課	無
5	第2部 4 施策の 体系	19-20	「4 施策の体系」を見たときに、後期重点事業がどのように関係してくるのが分かりづらいです。 「4 施策の体系」で、どこの施策にかかわるのかを示してもらえると、一目で横断的に取り組む事業だということが分かると思います。	後期重点事業は、全ての施策の中から重点的・分野横断的に取り組む事業を取りまとめたものです。この施策の体系の中に後期重点事業を取り込むと複雑な体系図となってしまいますので修正は行いません。 なお、23-27 頁の後期重点事業の個別項目においては、施策での取組番号を記載し、施策との関連性を表記しています。	総合政策課	無
6	第2部 5 後期重	22	「◎ 人口減少社会への対応」の部分が唐突で意味が理解しづらかった。	ご意見のとおりわかりやすくするため、22 頁の文章内容を 21 頁の前文に取り込み、22 頁は「後期重点事業	総合政策課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
	点事業		「後期基本計画における最重要課題：人口減少社会への対応」であり、この最重要課題を解決するための事業が、後期重点事業の12項目」という理解でよろしいですか。もう少しわかりやすい書き方にしたいと思います。	のイメージ図」と修正しました。		
7	第2部 6 米沢市におけるSDGsの取組について	28	SDGsについては、最近毎日のようにニュースで取り上げられ、今後益々その重要性が増してくるでしょうし、日本全国のどの自治体でも取り組む事業となってくるはずで。米沢市の取組をみると、単にやっている事業を寄せ集めて構成していますが、それらに加えて、米沢市らしい取組、全国でもこの取組と言えば米沢というべき事業等考えて発信してはどうでしょうか。市民が今後、関心を持つ事業だと思いますのでご一考ください。	今回初めて総合計画にSDGsの考え方を明記し、各施策とSDGsの17の目標との関連性を整理しました。本計画を推進することが、全てSDGsの達成につながっていくものと捉えています。 なお、今後各施策を推進する中で、SDGsの達成を目指し、米沢の独自性を持った具体的な事業についても検討していきたいと考えています。	総合政策課	無
8	第2部 第1章 施策1-1 活力ある商工業の振興	37	1-1-2 地域特性を活かした工業の振興 山工工学部と連携して新しい産業を生み出すことは大賛成です。これから特に力を入れてほしい分野です。	山形大学工学部が保有する最先端技術を活用し、新たな産業を創出するためには、地域内企業との連携が不可欠となりますので、今後とも産学連携促進に向けた一層の支援を図っていきます。	商工課	無
9	同上	37	1-1-3 賑わいのある商業の振興 2番目の項目に、「商店街組織と民間事業者の連携等により地域のコミュニティ機能を持つ商店街の形成を促進します。」とありますが、新たな商店街を作ることでしょうか。個店を維持していきただけで大変な時代にあって、商店街を形成することはかなり難しいと思	新たな商店街を形成するのではなく、既存の商店街の機能強化に向け、商店街組織と民間事業者が連携し、個店の魅力向上、創業支援を図っていくことが重要だと考えています。また、商店街活性化につながるよう、継続的支援を図っていきます。 2番目の項目を次のとおり修正します。	商工課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			います。	○商店街組織と民間事業者の連携等により、 <u>商店街の地域コミュニティ機能の強化を図ります。</u>		
10 ・ 11	同上	37	<p>(大型店舗について) 2名から意見提出</p> <p>(1) 米沢には品数が豊富な店が少なく、地元の店では食料品、日用品の買い物でしか利用していません。その他はインターネットで間に合います。休日に子どもからお年寄りまでが楽しめる大規模な店舗がほしいです。</p> <p>(2) ヨークベニマルやヤマザワがあるので、日常生活に不便はありませんが、休日にショッピングが楽しめる規模の大きなお店が近くにあると便利だと思います。山形の南ジャスコや天童のイオンみたいなお店がほしいです。</p>	大型店舗の出店につきましては、事業者側が商業圏内の人口規模や競合店の出店状況などを総合的に判断して立地するものと考えておりますので、今後の動向を注視していきます。	商工課	無
12	同上	37	<p>(キャッシュレス決済について)</p> <p>チェーン店以外では、スマホ決済できるお店が地元にはほとんどないようです。個人的に、今の生活で現金はほとんど使用していません。</p>	令和元年10月に導入された国のキャッシュレスポイント還元事業により、市内のキャッシュレス決済の普及が促進されましたが、今後もスマホ決済等の更なる普及に向け、関係機関や団体等と連携し促進を図っていきます。	商工課	無
13	同上	37	<p>1-1-4 米沢ブランドの強化</p> <p>ブランド戦略については、市として大きな予算を投資してきました。精神的な取組であり、息の長い取組が必要なことは承知していますが、金を使った割には、一過性の結果に終わっている気がします。重点事業項目にあがっているからこそ、もう少し明確な事業目標と予想される効果など、具体的に掲げる必要があるのではないで</p>	地域のブランド化や魅力向上はその効果が直ちに目に見えるものではありませんが、まずは事業に賛同するTEAM NEXT YONEZAWAの登録数を増やすとともに、市民に対する認知度の向上を図り、事業者・市民・地域が一体となって米沢ブランドの価値を高めていけるよう取り組む考えです。時間をかけて取り組むことにより、まちの力を総合的に高め、定住人口と関係人口の拡大につなげて	米沢ブランド戦略課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			しょうか。	いきます。		
14	同章 施策 1-2 自然と文化、歴史を活かす観光の振興	40	(インバウンド事業について) 観光客の誘致にとっては、全国どの市町村でも知恵を出し合い推進していますが、今後確固とした誘客促進を図るには外国からの誘客をもっと力を入れて進めるべきと考えています。特に、米沢・置賜は県内でも来客数が低く、それゆえに伸びしろがあるとも言えます。観光関係事業者はもちろんのこと、市民の方にも受け入れる側のおもてなしの醸成や、応対の仕方など計画的に整備していく必要があるでしょう。ようやく海外客が増えてきていますので、観光の重点項目として取り組んではどうでしょうか。	「1-2-1 観光推進体制の整備」及び、「1-2-3 誘客宣伝活動の推進」に記載のとおり、インバウンド事業は重要な観光施策であると認識しています。今後も、インバウンド客に応じたおもてなしの心向上のための啓発活動や、国際交流員を活用した外国人目線によるインバウンド客の誘致促進及び受入環境の整備等、インバウンド客増加に向けた取組を進めていきます。	観光課	無
15	同上	40	1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備 米沢は、田舎です。都会のような便利さはありませんが、ゆっくりとした時間の流れと独自の文化があります。これを是非、活かしたいと考えます。「伝統的な食文化を生かした滞在コンテンツ」と文書内にありましたが、「かてもの」をクローズアップしてみてもいいでしょうか。「かてもの」は藩公認（米沢ならではの所が重要）の雑草食です。物資に満ちた現代では、逆に魅力があると感じます。例えば、昼は「かてもの」をインストラクターと一緒に野山で集めて自分で調理して食べます。夜は、温泉などで米沢牛など、米沢の贅沢を味わうツアーを企画すると面白いのではないかと思います。好評ならば四季でツアーが組めます。	「1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備」に記載のとおり、伝統的な食文化である「かてもの」は重要な観光素材であると考えています。 体験型観光の推進に関して2番目の項目を次のとおり修正するとともに、具体的な事業については実施計画等において検討していきます。 ○集客力を高めるため、豊かな自然や温泉、伝統的文化を活用した <u>体験型の観光を充実するとともに</u> 、本市ゆかりのアニメや漫画等を新たに観光資源として活用します。	観光課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
16	同上	40	<p>1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備</p> <p>自然が素晴らしいというのどこに行っても同じ文句で米沢ならではの特色が感じられない。</p> <p>東京から2時間で来られることは、凄い強みの筈ですが、名所巡りすると1日かからない。自然を体験してもらおうことが一番良いのではないかと思う。例えば、野菜を収穫し、収穫した野菜を使った献立を食べて宿泊するということが考えられます。</p>	<p>「1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備」に記載のとおり、本市の自然は重要な観光素材であると考えています。</p> <p>体験型観光の推進に関して2番目の項目を次のとおり修正するとともに、具体的な事業については実施計画において検討していきます。</p> <p>○集客力を高めるため、豊かな自然や温泉、伝統的文化を活用した<u>体験型の観光を充実するとともに</u>、本市ゆかりのアニメや漫画等を新たに観光資源として活用します。</p>	観光課	有
17	同上	40	<p>1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備</p> <p>本市独自の歴史と文化を活用するとあるが、さらに幅広い世代の観光客に米沢を知ってもらうと同時に地域を活性化するためには、歴史だけでなく現在米沢で増加しているカフェを活用するべきであると思います。具体的には、市内のカフェの看板メニュー等を集めた催しや、地域の高齢者が気軽に立ち寄ることができるようにする取り組みなどを行ってみてはいかがでしょうか。観光を活性化させるためには、地域の活力が重要になると考えています。少子高齢化が急速に進む米沢市では高齢者の方々の生活が生き生きとしたものになることが地域活性化の糸口となるのではないのでしょうか。</p>	<p>本年度は、市内のカフェ店が連携し地域の賑わいを創出するため、「カフェの街米沢プロジェクト」を実施し、参加店舗を紹介するためのホームページを作成するほか、お買物券やオリジナルグッズのプレゼント等により消費喚起の促進を図る事業を展開しました。当イベントについては、観光客にも利用していただくため米沢観光Navi ホームページやSNS等で周知を図っています。</p> <p>現状では、カフェに集うのは比較的若い世代が中心ですので、カフェを活用した高齢者の居場所作りについては、他自治体の事例を参考に研究していきます。</p>	商工課・ 観光課・ 高齢福祉課	無
18	同上	40	<p>1-2-2 地域資源等を活用した観光基盤の整備</p> <p>米沢の観光は通過型観光で、観光客の滞在時間が短いことが課題である。また、米沢市は、県内のほかの市町</p>	<p>カフェの利用促進を図ることは、若い世代を中心とした観光客に効果があると考えます。本市では、ホームページやSNS等を活用した情報発信や誘客宣伝活動を</p>	観光課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			<p>村や周辺の県に比べ、一万人あたりのカフェの数が多い。前述の問題を解決し、市街地やまだ知られていない米沢の良さを知っていただくために、カフェを利用し地域振興をしてはどうか。</p> <p>市内11か所のカフェを訪問し、お店を立ち上げた経緯や地域コミュニティ内での役割などについてお話を聞いた。また、置賜地区の高校生を対象としたアンケートで、知人や家族からカフェの情報を得たという回答や、カフェの情報を得る機会が少ないという回答が多く得られた。それらを受けて、Instagramのアカウントを開設し、カフェの情報やお聞きしたお話についての情報を発信している。今後、カフェや観光地の情報などを合わせて記載したフライヤーを市内各箇所に配布したいと思っているが、拡散力の低いので、市にも協力をいただきたい。</p>	<p>推進していますが、様々な方法で情報発信を図る必要がありますので、ぜひ情報発信についてご協力したいと思います。</p>		
19	同章 施策 1-3 消費者や時代のニーズに合った農林業の振興	43	<p>1-3-1 多様な農林業の担い手の育成・支援</p> <p>2番目の項目を、「新規就農者（林業従事者を含む）等の地域で活躍する新たな担い手の確保、育成及び支援を行うとともに、～略～」とした方がいいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり修正します。</p>	農林課	有
20	同上	43	<p>1-3-1 多様な農林業の担い手の育成・支援</p> <p>農業は人が生きていく上で大切な食糧生産を担っています。しかし、後継者がいないという話をよく耳にしますので、そこら辺が課題ではなんでしょうか。</p>	<p>各項目に記載した施策に基づき、新規就農者や農業後継者などの新たな担い手の確保・育成に向けた支援を推進するとともに、認定農業者、農業法人、集落営農組織等多様な担い手の育成、支援を進めていきます。</p>	農林課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
21	同上	43	1-3-2 安全で良質な付加価値の高い農畜産物の生産 米沢牛をはじめとした農産物など、米沢には優れたものが多いと思います。こうした良品を世の中の人にも知ってもらいたいので広くPRしてほしいです。	44 頁 1-3-4 の3番目の項目に記載のとおり、情報発信を行っていきます。具体的なPR方法については、実施計画等において検討していきます。	農林課	無
22	同上	44	1-3-4 都市と農村の交流 現在、小野川温泉の近くに田んぼアートがあり、毎年多くの市民が参加しているが、これを拡張してはどうか。姉妹都市の交流事業として田植えを行う。例えば、学童などに田植えをしてもらうのも良いのではないのでしょうか。でも植えばなしであとは収穫までそのままでは面白くありません。近くのコミセンにお願いをして、市のSNSに週1回くらい、画像とコメント、動画をUPする(ライブカメラでもいいですが)など、植えた後の成長も見られる仕掛けがあると楽しくなると思います。リモートも活用して、リアルな交流+リモート交流で息の長い事業に育てます。できれば、山形新幹線車内から見えるような場所に田んぼアートがあると「映える」のではと思います。	具体的な事業の見直しは実施計画等で検討しますが、田んぼアートを他地区に広げるためには、借用する農地や鑑賞できる展望台など様々な条件をクリアする必要があります。現在の場所は、小野川温泉に近く、観光集客にも寄与していると考えていますが、今後山形新幹線の車窓から見えるエリアへ拡大できないか検討を進めていきます。 なお、田んぼアートの生育状況につきましては、事業開始当初からインターネットのライブカメラで見ることができるようしており、NCVのライブカメラでも発信しています。今後も、Facebook等のSNSを活用し、情報発信を積極的に行っていきます。	農林課	無
23	同上	42、 44	(有害鳥獣対策について) 最近、米沢市でも増え続ける有害鳥獣の駆除や対策についての項目が見つけれられません。猪や猿の害に加え、熊の頻繁な出没により、市民の安全が脅かされています。市としてのきちんとした対応策を盛り込むべきでないでしょうか。	有害鳥獣対策については、今後事業を拡充していくため、施策として追加します。 施策1-3「現状と課題」の1番目の項目を次のとおり修正します。 ○本市の農林業は、高齢化や後継者不足による農業就業人口の減少が進む中で、担い手一人あたりの負担が増しており、また鳥獣による農林業被害により耕作意欲	農林課・ 環境生活課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
				<p>が減退する中、有休農地も増加傾向にあります。</p> <p>また、施策 1-3-5 の後ろに次の項目を追加します。</p> <p><u>1-3-6 鳥獣害対策の推進</u></p> <p><u>○鳥獣による農林業被害防止や市民の安全確保のため、地域と連携して鳥獣の防除、捕獲、環境整備など総合的な対策を推進します。</u></p> <p>さらに、主な事業として<u>有害鳥獣対策事業</u>を追加します。</p>		
24 ・ 25	同章 施策 1-4 安 定した雇用 と働きやす い環境づく りの推進	46、 47	<p>(労働環境に関する意見) 2名から意見提出</p> <p>(1) 米沢の会社の給料水準は、他と比べてどうなのでしょう。東京からUターンしてきたくても、安いのであればそれがネックになりますから、労働環境の改善を求めていくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>(2) 20年程前にUターンで米沢に戻ってきました。働く場があったことはとても助かりましたが、給与面が課題でした。地元に戻ってくる際にはそうした点も考慮する人が多いと思います。</p>	<p>35-38 頁の活力ある商工業の振興における施策の取組によって企業等の所得が向上し、労働者の賃金上昇につながるものと考えています。そうした好循環を生み出すような具体的な事業について実施計画等において検討していきます。</p>	商工課	無
26	第2部 第 2章 施策 2-1 こ れからの時 代を生き抜 く力を持つ 子どもの育	49	<p>2-1-1 自ら学び考え行動できる力を育む学校教育の充実</p> <p>これからの学校では、パソコンやインターネット等を使った教育が主流になると思います。全国の学校で行われると思いますが、米沢でもぜひ力を入れ、子供たちの能力を引き出してほしいです。</p>	<p>4番目の項目に記載のとおりICTを活用した学習は重要になっていくと考えています。</p> <p>現在、児童・生徒が一人1台使用できる情報端末の整備と校内の高速ネットワークの整備を行っていますので、その情報端末を効果的に活用した授業の在り方を研究・研修し、児童・生徒に情報を適切に収集・処理・判断・活用できる力を身に付けさせるとともに、一人一人</p>	学校教育 課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
	成推進			の資質・能力を十分伸ばせるように活用を進めていきます。		
27	同上	49	<p>(人権教育等について)</p> <p>教育について、米沢の子どもを郷土を愛する子に育てることが必要です。米沢の歴史、偉人、郷土食、自然の素晴らしいところを伝え、災害の少ない恵まれたまちであることなど、繰り返し郷土の良さを伝えていくようにすることが重要です。</p> <p>また、人権、人格を尊重する教育を進めることが必要です。学校でも社会でも、いじめや差別、DVなどさまざまな問題が起こっています。算数を一つ多く覚えるよりも、もっともっとな人の人間として大切なことがあります。自分を守り、他人をも思いやれるような子を育てることが大切だと思います。心が病んでいる人がたくさんいます。子どもの時からしっかりと人権問題を考える子どもを育てていきたいです。</p>	<p>郷土愛の醸成については、50 頁 2-1-3 の 2 番目の項目に記載しています。</p> <p>また、人権等の教育に関しては、49 頁の 2-1-1 の 2 番目の項目に記載しています。</p> <p>それぞれ重要な施策でありますので、しっかり取り組んでいきます。</p>	学校教育課	無
28	同章 施策 2-3 多様な文化芸術と歴史・文化が息づき、豊かな心を育む地域づくりの推進	56	<p>2-3-2 地域の伝統文化や文化財の保存・継承と活用</p> <p>文化財について、保存していくのに力を入れていただくだけではなく、市民一般に見てもらったり、学校の学習で使ったりなどができないものでしょうか。</p>	<p>2-3-2 の 1 番目の項目に記載のとおり、学校や地域と連携した学習機会を設けるなど、文化財等の活用を推進していきます。</p> <p>また、現在も発掘調査現地説明会や史跡見学会、学校への出前講座等を開催していますので、引き続き推進していきたいと考えています。</p>	文化課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
29	同上	56	<p>(ナセBA活用について)</p> <p>ナセBAは、置賜に住む人みんなが図書館を利用でき、ギャラリーも大きいので近隣市町の類似施設に比べて強みがある。ナセBAを人が集い、文化発信できる拠点にしていけたらいいと思います。今年は、新型コロナウイルスの影響でギャラリーの利用が少なかったと感じます。平年も時期によっては予約が少ないこともあると聞きました。そういう時期に公募展や企画展を試みてはいかがでしょうか。春に ARTS MEET OKITAMA (AMO)があり、置賜一円の作家さんの作品が集まります。人が集まれば、交流も生まれ、経済効果もあると思います。例えば、米沢の四季の祭りにタイアップした企画・公募展や、夏休みなどに合わせたギャラリーならではのワークショップ祭り、米沢らしい工業系の展示など、市民ギャラリー+αの企画が生み出せたら面白いと思います。</p> <p>また、1Fのレイアウトについて北側エントランスから入ると階段下に受付ブースがあり、ギャラリーが見通せません。北口からギャラリーが見えると、立寄る人も増えると考えられます。レイアウトの見直しがあっても良いと思います。</p>	<p>市民ギャラリーでは市民芸術祭の一環として総合展(公募展)や自主事業として本市ゆかりの作家の企画展、ウッディコンサートなどを実施しています。また、芸術文化協会等が中心となって作品づくり体験などを組み合わせたワークショップ展等も開催されています。</p> <p>なお、ナセBA1階のレイアウトは、構造上変更ができず、総合案内受付についても、南と北の両方の出入口が見渡せる現在の位置が最適と考えておりますので、レイアウト変更は難しい状況です。</p> <p>市民ギャラリーについては、今後も関係団体等と連携しながら新しい企画を模索していくとともに、文化芸術団体等の利用促進を図っていきます。</p> <p>具体的な事業については、実施計画等において検討していきます。</p>	文化課	無
30	同章 施策2-4 スポーツで楽しく元気な人づくりの	57	<p>(現状と課題)</p> <p>本文3項目目と図表にある総合型スポーツクラブは、あえて「地域」という文字が省略されているのでしょうか。他ページでは、総合型地域スポーツクラブ数とあるので、同じものなら統一した方がいいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり「総合型地域スポーツクラブ」に統一して修正します。</p>	スポーツ課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
	推進					
31	同上	58、63	2-4-1 スポーツ参画人口の拡大とスポーツ環境の充実 健康に過ごすためには、体を動かすことが必要です。 市民が好きなスポーツをして、健康を保持できるようにしてほしいです。	ご意見のとおり、健康の維持増進のためには、スポーツ・運動等で体を動かすことは重要と考えており、58頁2-4-1の各項目に施策を記載しています。 また、63頁3-1-5の1、2番目の項目でも運動と健康づくりを関連付けて施策を記載しています。	スポーツ課	無
32	同上	58	2-4-1 スポーツ参画人口の拡大とスポーツ環境の充実 スポーツ環境の充実という面では、八幡原テニスコートの老朽化が著しいので、整備をお願いしたいです。	施策としては4番目の項目に「施設の計画的な整備等」を記載しています。 ご意見のとおり、八幡原緑地公園のテニスコートは老朽化等により様々な不具合が発生しています。今後の公共施設の改修等については、米沢市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき進める予定ですが、ほかのスポーツ施設についても老朽化等により様々な課題が発生していますので、市民意見を踏まえ、より快適に多くの方が利用していただけるよう機能を検討し、計画的な整備を進めていきます。	スポーツ課	無
33	同上	58	2-4-2 スポーツを通じた共生社会の実現と地域活力の向上 障がい者等がスポーツを通じて社会参画をする共生社会の実現のためにスポーツイベントやレクリエーション等を実施するとありますが、障がい者等が日々継続して取り組むことのできるスポーツ施設が必要と思います。例えば、世界的にホースセラピーが知られています。ホースセラピーは乗馬を通じて、あるいは馬の手入れ、馬の飼養管理、厩舎の管理、馬の観察などを通じて、	障がい者のスポーツ推進については、施設のバリアフリー化と共に、支援体制の充実や人材育成が重要だと考えています。また、障がいのある人とない人が、共にスポーツ等に参加し障がい者への理解を深めることが必要と考え、本市では従来よりスポーツ教室を開催し、ボッチャや卓球バレー等の障がい者スポーツを開催しています。 新たなスポーツ施設を設けることは、財政上難しい状況ですが、今後も障がい者スポーツの普及や支援に取り	社会福祉課・スポーツ課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			障がい者の精神機能と運動機能を向上させ、社会復帰を早めるリハビリテーションの方法の一つとされています。学校の統廃合が進み施設の再利用法が検討されていますが、障がい者等の日々のリハビリ・レクリエーション施設として、また障がい者等の交流推進の場として米沢市独自の取り組みを期待します。	組んでいきます。		
34	同章 施策 2-5 大学と連携した学園都市の推進	61	2-5-3 大学との交流や連携の促進 日本の人口がますます減っていく中で、大学生の人数も減っていくと思います。これからも米沢の大学に若い人が来てもらえるようにしてほしいです。	今後の少子化の進展の中で大学の学生確保が課題になることも想定されます。各大学の取組が重要ですが、学生の存在は市経済にも大きく寄与しており、学園都市としての魅力を対外的に発信し、協力したいと考えています。 4番目の項目として次の施策を追加します。 <u>○大学の学生と市や市民との交流等を情報発信し、大学の学生確保に協力します。</u>	総合政策課	有
35	同上	61	2-5-3 大学との交流や連携の促進 現状はコロナ禍で難しくなっていますが、本学部（山形大学工学部）としても引き続き公開講座等への講師派遣等で市民との交流を促進していきたいと思っています。	今後とも連携を密にし、魅力的な学園都市づくりに御協力をお願いします。	総合政策課	無
36	同上	61	2-5-1 学生が生活しやすいまちづくりの推進 せっかく大学が2校もあるのですから、残ってここで起業できる環境のお手伝いは出来ないか？人材がもったいない。若い女性にも残っていただくことも大切です。何を望んでいるか聞いてはどうか。高齢者へのタクシー券支給のように、米短の学生にも、雪の時だけで	各項目に記載した施策を推進し、学生が住みやすく、また卒業後も本市に残ってもらえるようなまちづくりを推進していきます。	総合政策課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			も交通費を支援してはどうか。東根市や天童市は若い人が集まっているが、どこが違うのだろうか。住民が望む施策をやっているから人口が増えているのではないか。今の米沢はワクワク感が消えたと感じる。アンケートくださいと待っているのではなく、むしろ聞きに出向く姿勢であってほしい。			
37	第2部 第3章 施策 3-1 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくりの推進	63	3-1-1 からだの健康づくり 病気の早期発見・治療のために、会社員であれば職場の健康診断を受けるように促し、自営業・高齢者は市役所の基本健康診断を受けるようにしてほしいです。	2番目の項目のとおり、健康診査等の受診促進を図っていきます。 具体的な取組としては、毎年4月に全戸配布している健診ガイドブック等で案内をしていますが、今後も、はがきや電話での勧誘など健康診査受診の呼びかけを行い、受診率の向上に努めていきます。	健康課	無
38	同上	63	3-1-4 食生活の改善 全市にわたる減塩運動を栄養大学の力を借りて展開してほしい。	3番目の項目のとおり、適切な塩分摂取に関する啓発を推進します。 本年度は、市民の食生活や塩分摂取量を改善すべく、青年期・壮年期の現役世代を対象とした食生活改善事業を県立米沢栄養大学と連携して実施しています。今後も県立米沢栄養大学と様々に連携し、健康寿命の延伸に向けた取組を進めていきます。	健康課	無
39	同上	63-64	(文章表現について) この頁全体的に「並びに」、「及び」が多くて読みにくいです。法令ではないので、もう少しわかりやすい表現の方がいいと思います。	63-64頁全体を見直し、分かりやすい表現に修正します。	健康課・ 総合政策課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
40 41	第2部 第3章 施策3-2 安心して生み育てることができるまちづくりの推進	66	(困窮世帯の子ども支援に関する意見) 2名から提出 (1) 新型コロナウイルス感染症により、雇用環境が悪化し、困窮する家庭も増えていると思う。困窮世帯の子供への支援をお願いしたい。 (2) 困窮世帯があると思いますが、特に、そうした家庭の子供に支援し、次代を担う子供たちに幸せになってほしいです。	3-2-2の最後の項目に記載のとおり困窮世帯の子どもへの支援を行っていきます。	こども課	無
42	同上	66	3-2-2 子育て家庭に対する支援 子育て支援について、このまちで子育てをする父母の方々が、子育てしやすい援助が必要です。市でもいろいろ考えていることと思いますが、市民の声を聞いてほしいです。	市のあらゆる施策や事業を検討するに当たり、市民の声を聴くことが基本となります。本計画でも108頁の6-3-1の各項目にそうした内容を記載しています。	こども課	無
43	同章 施策3-3 生きがいを持って高齢期を過ごせる長寿のまちづくりの推進	70	3-3-2 地域で暮らすための支援 最近一人暮らしのお年寄りが多いと思います。近所付き合いが少なくなりがちな世の中ですが、隣近所の方に協力いただいて安否を確認できるような仕組みが米沢にほしいです。	2番目の項目に記載のとおり、地域全体で見守るような仕組みづくりを行っていきます。	高齢福祉課	無
44	同上	70	3-3-2 地域で暮らすための支援 これからは、一人暮らしで身寄りの無い高齢者が増えてくるので、後見制度を充実してほしい。	3番目の項目に記載のとおり、成年後見制度の充実に向けた体制整備を行っていきます。	高齢福祉課	無
45	同章	73	3-4-1 自立に向けた就労支援・社会参加支援	2番目の項目に記載のとおり、障がい者のスポーツ参	社会福祉	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
	施策 3-4 誰もが自立を目指せる環境の整備		パラリンピックのように、障がい者のスポーツを是非普及させてほしいです。	加の取組を行っていきます。	課	
46 ・ 47	同上	73	(ひきこもり支援について) 2名から意見提出 (1) 世の中には引きこもりの人がかなり多いとのニュースを見ましたが、米沢でもそういった人の社会参加を促す取組をしてほしいです。 (2) 引きこもりは、国全体の大きな問題となっている。そうした人を支援し、社会参加を促していく取組を求める。	3-4-4 の項目に記載のとおり、ひきこもりに関する支援を行っていきます。	社会福祉課	無
48	同上	78	3-6-1 地域医療体制の強化 里帰り出産をする人も多いと思いますが、米沢でそうした産科医院の体制はこれからも十分なのでしょうか。	2 番目の項目に記載のとおり、周産期医療(産科・小児科の一貫した総合的な医療)体制の強化を行っていきます。	健康課	無
49 ・ 50	同章 施策 3-6 適切な医療を受けられる環境の整備	78	(市立病院の医師確保について) 2名から意見提出 (1) 市民の命を守るためにも、市立病院については建物を新しく整備するだけでなく、そこで働く医師や看護師の確保をしてほしいです。 (2) 市民の健康を守るためにも新しい病院には期待していますが、医師不足が心配ですのでよろしく願いいたします。	3-6-2 の 2 番目の項目に記載のとおり、医療従事者の確保を行っていきます。 また、新病院建設計画では、三友堂病院との機能分化・医療連携を行うこととしており、医療連携の枠組みとして地域医療連携推進法人を設立し、その中で病床の融通や人事交流などを進め、人材確保についても検討していきます。	市立病院 総務課	無
51	同上	78	3-6-3 救急医療の充実 置賜総合病院は遠いので、市立病院の建替えにあわせて、救急医療体制をしっかりと整えてほしい。	2 番目の項目に記載のとおり、救急医療体制を整備していきます。	市立病院 総務課・ 健康課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
52 ～ 69	同上	78	<p>3-6-3 救急医療の充実 (歯科の休日診療について) 18名から意見提出 以下一部意見を抜粋</p> <p>(1) 米沢市における新病院開院後における、院内での歯科休日診療体制の構築を要望します。</p> <p>現在は、置賜地区3歯科医師会会員による輪番での在宅休日診療を実施していますが、山形県からの助成が打ち切られる予定で、継続が困難になります。市民への救急体制維持のためにも休日歯科診療所の開設を希望します。</p> <p>(2) 新米沢市立病院の平日夜間・休日診療所の運営についてですが、今のところ「歯科」が入っていないとのこと。米沢市民のことを考えていただければ、ぜひ「歯科」を加えていただければ幸いです。米沢市においても、日曜日に診察する歯科が増えてきてはおりますが、「歯科」の特性上多くは予約制であり十分な時間を確保して診察・治療しております。そういった中、緊急性を訴えて歯科受診する休日当番歯科の場合、日曜日診療している医院において診察の手が回らなくなり、緊急性を訴えて受診した方に十分な対応が困難になると思われ、米沢市民のためにならないと思います。また今までは休日当番は各歯科医院で輪番制で行っていますが、患者さんからするとその都度場所が変わってしまいます。米沢市立病院に「休日歯科」もできることで休日は「米沢市立病院にいけば大丈夫」というわかりやすさと安心も得られるのではないかと思います。ぜひ米沢市民のために新米沢市立病院の休日診療に「歯</p>	<p>市立病院の新病院建設に関しては、狭隘な建設敷地と限られた建設事業費という制約の中で、当初の設計から全フロアの建設面積を削減した経過があります。そのため各診療スペースは、必要最低限とせざるを得ない状況のため、救急部門に歯科のスペースを設ける余裕はなく、歯科口腔外科の診療室も、他の診察室と同様に2階に配置していますので、診療時間外における歯科口腔外科への患者導線上の問題を含め、運用上・管理上からも、輪番制の診療機能として利用するのは難しいと考えています。</p> <p>また、歯科の救急医療体制をどこまで求められているかにもよりますが、市立病院の歯科口腔外科の診療内容は、口腔、顎(がく:あご)、顔面及びその隣接組織に現れる先天性および後天性の疾患を扱い、一般の歯科診療(健康な方の虫歯等)とは分野が異なっています。通常診療であれば必要に応じて歯科と歯科口腔外科との連携を行っていきませんが、診療時間外の緊急性のある歯科口腔外科の患者は、直接市立病院に来院すると想定し、輪番制の歯科との連携の機会は少ないと考えられ、市立病院で行おうとしている医科の一次救急と二次救急の一元化とは趣旨が異なるものと考えています。</p> <p>上記の理由により、市立病院での休日の歯科診療の体制整備は困難ですが、休日の歯科診療体制の整備は課題であると認識していますので、今後、歯科医師会様と望ましい体制整備の在り方について協議していきます。</p>	市立病院 総務課・ 健康課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			科」を加えていただけるようお願いしたいです。			
70	同章 施策 3-7 社会保障制度の安定運営	80	3-7-1 低所得者福祉の充実 新型コロナウイルス感染症により、雇用環境が悪化し、生活保護制度に頼らざるを得ない家庭が増えているとのニュースを聞く。そうした方への支援策として就業相談も合わせて行うことができないか。	この項目に記載している支援については、ハローワークと連携した就労支援の内容も含まれているところであり、しっかり対応していきます。	社会福祉課	無
71	第2部 第4章 施策 4-1 快適で住みよい住環境づくりの推進	82	4-1-1 良好な住環境の整備推進 鶴岡市では空き家対策計画を作って空き家の対応をしています。米沢でも空き家が随分増えているので、有効活用すれば地域の活性化や防犯対策などにもつながるのではないのでしょうか。	本市でも空き家対策を総合的かつ計画的に実施するため、「米沢市空き家等対策計画」を策定し、空き家の発生予防、適正な管理、管理不全空き家対策を柱として、各種事業を実施しています。 今後も4番目の項目に記載のとおり、空き家・空き地の有効活用を図っていきます。	都市整備課	無
72	同上	82	4-1-1 良好な住環境の整備推進 民間のアパートの中には、古くなって空き室が目立つところもあります。それを市が借り上げ、市民に貸し出すような仕組みがとれないのでしょうか。	4番目の項目に記載のとおり、アパートも含め空き家・空き地の有効活用を図っていきます。 具体的な事業については、実施計画等で検討していきます。	都市整備課	無
73	同上	82	4-1-1 良好な住環境の整備推進 高齢者が住み慣れた家で暮らせるよう、家のバリアフリーなど改修費の補助制度を作ってもらえないでしょうか。	介護保険には、生活環境を整えるサービスとして住宅改修費の一部を支給する制度があります。高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた家で暮らし続けられるように、今後とも、介護支援専門員やリハビリ専門職と連携を図り、必要な人が利用しやすいようにしていきます。	高齢福祉課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
74	同上	82	4-1-2 良質な市営住宅としての管理 金池にある市営住宅は、かなり古くなっているので建替できないでしょうか。	人口減少が進む中で公営住宅も含め公共施設の在り方を見直す必要があります。本計画期間中において市営住宅を建替えることは難しいため、施策としては、「計画的な改修」としているところです。	都市整備課	無
75	同章 施策 4-2 秩序ある土地利用と景観形成の推進	84	4-2-2 コンパクトなまちづくりの推進 市内には、田んぼの中に新しい住宅団地やアパートが作られています。除雪費など行政のコストも増えるので、何等かの制限をかけられないでしょうか。	御意見のとおり、無秩序な市街地拡大は行政コストの増加につながります。このため、本市では、人口減少社会に対応したコンパクトなまちづくりに向け立地適正化計画を策定しました。 1 番目の項目に記載のとおり、市民、事業者の皆様にご理解いただきつつ、居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能をコントロールしながら誘導し、持続可能なまちづくりを進めていきます。	都市整備課	無
76	同上	84	4-2-3 魅力ある景観形成の推進 米沢のまちの中には、なぜか城下町を感じさせる景観が少ないと思います。是非景観整備に力を入れて、町全体の魅力UPにつなげてもらいたいです。	1 番目の項目に記載のとおり、歴史や文化を背景としながら、城下町らしい魅力的な景観形成を推進していきます。	都市整備課	無
77	同上	84	4-2-3 魅力ある景観形成の推進 駅前前の景観は、米沢の窓口です。もう少し景観形成をしていく必要があると思います。	米沢駅前周辺については、本市を代表し、重点的に良好な景観を形成する地区として「景観形成重点地区」に指定しています。他地域よりも厳しい基準に基づく届出制度の運用により、景観の向上・調和を図りつつ、良好な景観形成を行う事業に対して支援を行うなど、引き続き景観形成の推進に努めていきます。 なお、1 番目の項目を次のとおり修正します。 ○名所・旧跡等の歴史・文化的景観資源を有効活用する	都市整備課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
				など、 <u>地域特性に応じたまちなみづくり</u> を市民との協働で進めることにより、 <u>米沢らしい良好な景観形成</u> を推進します。		
78	同上	84	4-2-3 魅力ある景観形成の推進 金池にある吉池公園は立派ですが、あまり使っている人を見かけません。市民が存在を知らないのかもしれませんが、もっと活用できるようPRしてはどうでしょうか。	都市公園の利用促進の観点から2番目の項目を次のとおり修正します。 ○都市公園の適正な整備、維持管理、 <u>利用促進</u> を推進するとともに、花と樹木におおわれたまちなみづくりを推進します。	都市整備課	有
79	同上	84	4-2-3 魅力ある景観形成の推進 花と樹木に覆われたまちなみを進めていくためには、長い年月がかかると思います。まちなみの中の緑があふれるように取組を継続してほしいと思います。	2番目の項目に記載のとおり、今後とも、まちなみの緑化等について市民協働で進めていきます。	都市整備課	無
80 ～ 82	同章 施策 4-3 利便性の高い道路・交通網の整備	86	4-3-3 公共交通機関の充実 (公共交通全般について) 3名から意見提出 (1) 平日、郊外から町の中心部まで仕事に来るのにバスを利用したいのですが、現在の本数では利用したくても、なかなか利用できないので、運行の見直しをしてほしいです。 (2) 冬期間、高校生の子供を学校に送迎していました。多くの家庭も同様でした。バスなどの公共交通があれば、冬の暮らしが楽になるのですが、交通計画で色々な場合を想定してご検討いただきたいと思いました。 (3) 子供からお年寄りまで、誰もが使いやすい公共交通計画を作ってほしいと思います。そうすれば、二酸化	1番目の項目に記載のとおり、令和3年度に地域公共交通計画を策定する予定であり、現在、各種調査等を行っています。 これら調査結果の分析や利用者目線での話し合いにより、公共交通が直面している状況や問題点を明らかにしながら、公共交通に求められるニーズと解決すべき課題を整理し、より多くの方が利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指していきます。	総合政策課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			炭素の排出削減にもつながります。			
83 ・ 84	同上	86	<p>4-3-3 公共交通機関の充実 （高齢者の移手段について） 2名から意見提出</p> <p>（1）高齢者に必要不可欠な「移動」について、交通、福祉双方の関係者が、協働して議論できるよう、地域の実情や相互理解の進捗を踏まえつつ、各関係組織の市町村レベルでの連携をお願いしたい。高齢者の移手段を継続的に確保するには、地域主体の取り組みが必要と考える。企画立案段階から実施段階まで、市町村での助言や、関係機関との調整など幅広く支援してほしい。</p> <p>（2）高齢者は移動等が困難な場合があるので、例えば85歳以上の方は、バス等の公共交通を無料にしてはどうでしょうか。また、市では、高齢者が免許返納した場合、乗車券の交付支援制度があるが、支援額が低すぎるのではないのでしょうか。</p>	<p>1番目の項目に記載のとおり、令和3年度に地域公共交通計画を策定する予定であり、高齢者のニーズも把握しながら取り組んでいきます。</p> <p>また、免許返納時の支援拡充については、そもそも運転免許を持っていない人や運転免許の有効期限到来により自主的に更新せず運転免許を失効した人との公平性を考えると難しいと考えています。</p>	総合政策課・環境生活課	無
85	同章 施策4-4 安全な水の供給と水環境の保全の推進	89	<p>4-4-4 地下水の保全</p> <p>施策4-4での地下水揚水による地盤沈下等地下水障害は深刻な問題だと思いますが、何らかの目指す目標値を示すことは難しいのでしょうか。</p>	<p>地盤沈下の要因は地下水の過剰揚水によるものだけではなく、地下掘削によるもの、建物荷重等によるもの、地震による地殻変動によるものなど複数考えられます。地盤沈下はないことが望ましいものでありますが、過剰な揚水とはどのくらいからを指すのか明確には分かっていないことや、地震といった自然現象によるものは予測ができないことなどから、具体的な目標値をお示しすることは困難です。</p>	環境生活課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
86	第2部 第5章 施策5-1 いざというときに備えるまちづくりの推進	94	5-1-3 消防力の強化 消防団員のなり手が少なくなっている話を聞きますが、大変なことだと思いますが、育成していくような取組ができないでしょうか。	2番目の項目に記載のとおり、消防団活動のPRや団員を雇用する事業所に対する協力依頼などの取組により、消防団員の確保を図っていくほか、各教育機関等で模擬演習等も含めた消防団の必要性を学ぶ機会を設けてもらい、なり手の育成に努めていきます。	環境生活課	無
87	同章 施策5-2 普段から安全を心がけるまちづくりの推進	97	5-2-1 交通安全対策の推進 特に高校生に多いのですが、一時停止の標識で全く止まることなく、道路に飛び出してくる自転車をよく見かけます。重大事故につながりかねないので、引き続き交通安全団体と協力・連携して交通安全意識の啓発をお願いします。	2番目、3番目の項目に記載のとおり、引き続き交通安全意識啓発も含めた様々な交通安全対策を推進していきます。	環境生活課	無
88	同章 施策5-3 冬期も安全安心に暮らせるまちづくりの推進	100	5-3-2 効率的な除排雪体制の確立 道路の除雪の際に、家の前に除雪した雪を腰丈以上に置いていかれたことが多々あります。置いていかれた雪を取り除くのに難儀するので、大変だと思いますがもう少し工夫してほしいです。	除雪作業は、道路に降った雪が通行車両により圧雪されすり鉢や轍が発生し、通行に支障が発生しないように道路脇に寄せる作業のため、除雪後に玄関先等へ雪が置かれることはやむを得ませんのでご理解ください。 なお、高齢者世帯等で雪片付けに苦慮する世帯の方には「やさしい除雪」として、押雪軽減制度も行っていますので、今後も制度の周知に努めていきます。	土木課	無
89	同上	100	5-3-2 効率的な除排雪体制の確立 除雪について、例年、除雪に際道路に雪を出さないようになっていますが、テレビで見たのですが、ある自治体では、「雪を出してください」と言って除雪車が来る前に道路に出させていました。やり方や方法はいろいろ	本市では、道路幅が狭くなることや路面がでこぼこになること、除雪車に巻き込まれる危険性があることから、道路への雪出しはしないようお願いしているところです。効率的な除排雪については、他自治体の手法等も参考にしながら、今後も検討していきます。	土木課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			ろあると思いますが、ぜひ情報を得て、できることをやってみてはいかがでしょうか。			
90	同上	100	5-3-3 道路、住宅等における融雪施設等の充実 雪対策について、米沢は雪が降ります。市でもいろいろな対策を考えていると思いますが、雪とどう向き合うかが大切です。降った雪を除雪することはやっていますが、それでは同じことの繰り返しです。ご存知かもしれませんが、降った雪をそのまま屋根にのせている家があります。米沢市の雪対策の一つとして、建設費の補助制度を推進していくなど発想の転換を求めます。市民に対してもっと何かあるかと問い続けることが大切です。	1 番目の項目に記載のとおり、住宅の克雪化として住宅リフォーム総合支援事業費補助金の中で無落雪対応工事等に対して費用の一部を補助しています。こうした制度の周知にも努めていきます。	都市整備課	無
91	同上	100	5-3-5 安心して生活できる体制づくり 冬は毎日の除雪が大変です。今はまだ若いので自宅前の除雪はできますが、年をとったことを考えると心配です。何か支援策があれば将来お願いしたいと思います。	1 番目の項目に記載のとおり、高齢者世帯等を対象に玄関前の除雪や雪下ろしに対して支援を行っています。こうした制度の周知にも努めていきます。	高齢福祉課	無
92	第2部 第6章 施策6-2 交流・つながりを通じ、多くのひとを呼び込むまちづくりの推進	105	6-2-1 国内交流の推進 ふるさと納税は、米沢の情報を発信するだけでなく、特産品等の振興や市の収入増加といった三方良しの施策ですので、もっと力を入れて行ってほしいです。	ご意見を踏まえ、3 番目の項目に記載のとおり、ふるさと納税制度の更なる活用を図っていきます。	米沢ブランド戦略課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
93	同上	106	<p>6-2-3 移住・定住の促進</p> <p>新規学卒者の定住促進とありますが、学生が、自分で考えたことで、米沢の役に立つような体験があれば良いと思います。米沢商業高校と工業高校が一つになるし、大学もたくさんあります。そうした学生に町おこしや商品開発など「米沢ブランド」としてのプロジェクトをお願いしてはどうでしょうか。アイデアを実現するには、米沢市内の企業などとのつながりが必要になってきます。たくさんの大人が本気で関われば、未来の優秀な人材が育つことと思います。</p> <p>また、お試し暮らし体験について、米沢の伝統芸能とタイアップしてはどうかと考えます。梓山獅子踊りや、綱木獅子踊りなど、後継者の少ない伝統芸能を体験してもらいながら、地元と米沢を行き来してもらい、お祭りで踊りを披露する。プチ移住とは正反対の深い体験プランがあっても良いと思います。また、原方刺し子や笹野一刀彫、つるかご編みなどの工芸が学べるワーケーションも面白いと思います。市内旅館に宿泊、もしくは民泊などをしながら、工芸を体験したり学んだりします。美術、芸術を学ぶ学生さんにも来てもらえるのではないかと思います。</p>	<p>ご意見のとおり新規学卒者の定住促進には高校や大学との連携が重要ですので、2番目の項目を次のとおり修正します。</p> <p>○高校や大学等との連携により、新規学卒者等の定住を促進します。</p> <p>また、移住促進の具体的な事業については、ご意見を参考に検討していきます。</p>	総合政策課	有
94	同上	106、113	<p>(ふるさと納税に関する目標値について)</p> <p>施策 6-2 目指す目標値「ふるさと納税申込件数」、施策 6-5 目指す目標値「ふるさと応援寄附額の寄附額」ともに、後期目標値が大幅に現状値より下がっているのは、理由があると思います。</p>	<p>様々な返礼品の見直しを行った平成 30 年度の実績を基準に当初の目標値を設定しましたが、令和元年度の法制化に伴い現行制度が維持される見込みが高いことから、令和元年度の実績に基づき目標値を次のとおり見直します。</p>	米沢ブランド戦略課	有

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			目標値に掲げるのであれば、目標が下がっている以上、注意書きでも理由を書いてある方がわかりやすいです。	3 ふるさと納税申込件数〔寄附額※〕 ※寄附額については、施策 6-5 の目標値 1 現状値：30,819 件〔13.9 億円〕（令和元年度） 目標値：31,000 件〔14 億円〕（令和 7 年度）		
95	同章 施策 6-3 と もに協力し 合い、行動 するまちづ くりの推進	108	6-3-1 市民と行政が一体となったまちづくり推進体制の整備 市民の声について、多くの市民の声は、とても大切だと思います。ただ「意見が言えるよ」という情報はあまり知られていないので、わかりやすく知らせる必要があると思われます。もっともっと市民の声を聞くチャンスを設けてもらえると良いと思います。	各項目に記載のとおり、市民の声を聴く機会を設け、それを周知し、市民意見を市政に反映していきます。	秘書広報課	無
96	同上	108	6-3-1 市民と行政が一体となったまちづくり推進体制の整備 市内には、様々な活動をしている団体や個人がいるが、そういうグループを把握してまとめていただけないでしょうか。大きな力になると思います。	ご意見を踏まえ、2 番目の項目を次のとおり修正します。 ○市民が持つまちづくりに関するアイデアを具現化しやすい環境整備を図るとともに、まちづくりに参加するNPO団体等を把握し、育成を図ります。	総合政策課	有
97 ・ 98	同章 施策 6-4 男 女共同参画 の推進	111	6-4-1 男女共同参画意識形成の推進 （男女共同参画意識の啓発について）2 名から提出 （1）市民に期待する役割として地域活動・家事・育児・介護等を男女で協力して行うことを求めています。求める内容を市民に認知してもらったり男女で家事等の分担を後押ししたりするような活動が必要なのではないのでしょうか。実際に山形県内でも家事や育児の大部分を担っているのは女性なので、男性へ家事の参加を促す	各項目に記載のとおり、男女平等教育の充実や男女の役割分担意識の改革を図っていきます。 具体的な取組については、ご意見を参考に実施計画等で検討します。	総合政策課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			<p>ような活動を行ってはどうでしょうか。また、家事を分担するだけではなく、家事の社会化や外部化をうまく利用して家事自体にかかる負担を減らすという解決方法もあると思います。このような考え方についてはまだ認知度が低く、行うことに抵抗がある人も多いと思いますが、新しい家庭生活の形として認知してもらうために市民へ知らせていくことも必要だと考えます。</p> <p>(2) 市内には、3世代家庭も多く、そうでない方でも、若い方々は、少し良くなっていますが、「女性は〇〇だ」とか「家事は女性の仕事だ」とかまだまだ古い考えが残っているとよく耳にします。女性が輝かないと、家庭が暗くなってしまいます。子どもにはとても影響します。女性の負担を軽くするようなものの考え方を普及させていくように考え方をぜひお願いします。もちろん、経済的援助、その他も必要です。</p>			
99	同上	111	<p>6-4-1 男女共同参画意識形成の推進</p> <p>6-4-1に、男女平等教育を充実させるための学習機会の拡大を推進しますとあるが、学校などで男女平等について考える機会はほとんどないと感じます。子どもの頃から考える機会がないと、男女平等ということについて考えた事が無かった・今の社会が完全には男女平等を実現できていなかったことに気づけなかったという人が増え、現在のように女性が仕事に加えて多くの家事分担を行わなければいけない状況が受け継がれてしまうと考えます。将来的に男女平等社会を実現するためにも男女平等について授業で取り扱い考えるなどして、子</p>	<p>学校教育においては、男女がよきパートナーとして、共に助け合い、協力し合い、責任を分かち合うことができる機会や場を意図的・積極的に設定するようにしています。結果、児童生徒は望ましい人間関係を構築しながら、一人一人の能力や個性を発揮することに繋がっているものと考えています。学校教育の根底には、性別にかかわらず、世界でたった一人のかけがえのない存在である自分に誇りや自信を持ち、自分自身の生き方や考え方を、自己を肯定する自尊感情を育むことを重視して教育を行う考えがあります。今後も男女平等という概念を意識して、多様な考え方や生き方を認め合う学校教育を推</p>	学校教育課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			ども達全員が一度は考える機会を持てるような教育の過程・環境が必要なのではないのでしょうか。	進していきます。		
100	同上	111	<p>(市民団体やグループについて)</p> <p>男女共同参画推進を団体やグループの活動を支援するほか…について、米沢市では市民団体登録制度はありません。どのようにして団体やグループの支援ができるのですか？パープルリボン運動も含め、一部の団体しか声がかけれず、何を基準にして一部の団体にしか声をかけないのかが分からない。市なら尚更対等にするためにも、市民団体やグループ名の登録制度を作る必要があるのではないか。</p>	<p>本市には市民団体登録制度はありませんが、NPO法人については県が所轄していますので、今後その把握に努めていきます。これは男女共同参画推進に限ったことではありませんので、108頁の6-3-1 市民と行政が一体となったまちづくり推進体制の整備の2番目の項目を次のとおり修正します。</p> <p>○市民が持つまちづくりに関するアイデアを具現化しやすい環境整備を図るとともに、まちづくりに参加するNPO団体等を把握し、育成を図ります。</p> <p>市民団体やグループ名の登録制度については、協働体制や活用方法等を含め、その後の検討課題と考えています。</p>	総合政策課	有
101	同上	111	<p>6-4-2 女性の参画機会の確保</p> <p>女性のライフスタイル（仕事、結婚、子育て）があるが、育児休業や、介護休業など、女性だけが担うものではない。男性も育児休業、介護休業が取れるような地域社会の理解や、支援が必要である。</p> <p>また市が考える、支援とは具体的に何を支援するのでしょうか。</p>	<p>女性だけでなく男性も育児休業や介護休業を取得するためには、各企業の協力等も必要であり、今後も地域社会での理解を広めるため、積極的な啓発、周知や各種助成金等の情報提供等を行っていきます。</p>	総合政策課	無
102	同上	111	<p>6-4-3 誰もが安心して暮らせる環境づくりの推進</p> <p>DVやセクシャル・ハラスメント等の防止策を推進…</p>	<p>市広報でのDV相談窓口の周知、DV防止啓発イベント・セミナーの開催、パープルライトアップの実施など</p>	総合政策課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			とありますが、どのような形で推進するのですか？	により啓発活動を推進していきます。		
103 ～ 107	同上		<p>(女性センターについて) 5名から意見提出</p> <p>(1) パブリック・コメントを拝読し、あまりにも具体策がない、あやふやな表現になっており残念です。山形市にある「山形市民活動支援センター」に登録をすると、無料で会議室が借りられたり、コピー代も無料、登録団体は講座を開催したりもできる。また、センターからNPOの作り方など講座開催もしている。さらに、センターでは年に1度お祭りなど行い、各団体、グループにブースをもらえ、市民の方々に各団体の紹介や、またダンスや歌など披露することもでき、さらに団体同士交流する場となっています。また、山形市、新庄市には女性センターがあります。庄内では、庄内チェリアもあり、DV防止啓発講座や、女性のエンパワメントのための講座開催しております。米沢市では、こども課でDV被害者相談は受け付けておりますが、男性職員もいる市役所、さらに誰に会うかも分からない行政や警察、配偶者暴力相談センターには行きにくい、さらに、そこまでの相談じゃないと自分の殻に閉じ込めてしまう女性が多いです。</p> <p>上記に意見いたしました内容を集約できるのは、『米沢市に女性センターを設置』することで、多くの相談や、それにむけた支援が具体的にできると思います。行政に行く一歩手前で、老若関わらず誰でも、ここにいるだけで安心ができる空間。さらに登録団体は、無料で会議室が借りられ、男女共同参画推進講座や、DV防止啓発講座、など、●相談の場、学習の場、●交流の場など女性</p>	<p>現時点では単独で女性センター等を設置する予定はありませんが、本市にとって男女共同参画を推進することは非常に重要でありますので、今後とも山形県男女共同参画センターと連携し、様々な学習、交流支援、相談機能を充実させていきます。</p> <p>また、DV被害者の市営住宅入居につきましては、現在、DV被害者単身で入居申込をいただくことは可能となっています。住居に関する相談も含めDV被害者から様々な悩みの相談は、こども課が窓口となり、婦人相談員や担当職員が相談に対応しています。相談専用の直通電話等も備え、女性がいつでも相談できるような体制を整備しています。さらに、相談内容に応じて山形県女性相談センター、山形県置賜地域配偶者暴力相談支援センター、山形県米沢警察署や山形県中央児童相談所等といった専門機関と連携し支援を行っています。</p> <p>今後も、迅速な対応ができるよう関係機関と連携しながら、組織体制も含めきめ細やかな相談体制の充実を図るとともに、女性を中心とした誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。</p>	総合政策課・こども課・都市整備課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			<p>センターが設置されることで、多様な情報と安心出来る空間を提供できることとなります。置賜地方に根強く残る男尊女卑、また相談したくても相談ができない、どこに相談したら良いか分からない方々も多くおられます。置賜地方には女性センターがございません。まだまだ弱者と言われている、子ども、女性の人権を守るためにも福祉、男女共同参画推進、DV防止啓発、DV被害者支援など、寄り添いと支援の厚い米沢市に女性センターを設置し、置賜地方の、さらに、各市町村の代表的な素晴らしいモデリングとなるような米沢市になってほしいと願います。</p> <p>(2) 米沢市には、女性センターがございません。女性センターは、気軽に相談できる場であり、行政や警察に行きづらい女性が安心して相談のできる場があります。女性センターができることで、行政に行く一歩手前の段階で、サポートしてもらうことができます。</p> <p>また、市民団体もそのセンターを利用し、様々な人権問題やDV防止啓発活動、さらに女性をエンパワメントするような講座も行え、安全安心な場があることで、男女共同参画にも繋がっていくと思います。ぜひ、前向きに女性センターの設定を検討し、1日も早く設置されることを願います。</p> <p>さらに、DV被害者が避難することができる場所として、米沢市営住宅を検討してほしいです。市営住宅は、現制度では家族がいる方、高齢者しか入居できませんが、DV被害者には、警察と連携し、支援者をサポートしつつ、特別措置として単身者が入居できるようにして</p>			

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			<p>ほしいです。</p> <p>(3) 米沢市に専用の女性センターの設立をお願いいたします。暴力を受けて米沢市に救いを求めたが、たらい回しにされ、大変な思いをした方とか、女性が貧困を抱えて苦しんでおられる方々がいらっしゃいます。その方達が、心配なく相談ができ、対応ができるようお願いいたします。また、女性達の活動が十分にできるような、専用の場所が必要と感じます。心おきなく利用する為に、専従者の確保が重要と思います。よろしくをお願いいたします。</p> <p>(4) 置賜にはない困ったことの相談やDV被害からの駆け込みなどに対応する「女性センター」も必要です。</p> <p>(5) こども食堂や、気軽に集まってお話ししたり手芸したりの場所を提供していますが、色々問題を抱えている方もいます。女性のための施設が無いのも問題です。県にも置賜に施設がほしいと言ってください。</p>			
108	同上	111	<p>(人権教育について)</p> <p>今日、いじめによる自殺、誹謗中傷のLINE、SNSなど子どもの人権が守られていないのが実情です。</p> <p>「相手を自分を大切にすることは」「人権とは」の教育は、とても大切で、私は、国語などの勉強より、1番先に教えていく大切な教育だと思います。小学校のうちから道徳の時間はあっても、人権について、わかりやすく学べる、教える学校の間ではないと思います。子どものうちから、「自分と相手を大切にすることとは」この人権教育を学校の間で学んでいけば、デートDV、DV加害者</p>	<p>道徳教育の充実等については、49頁2-1-1自ら学び考え行動できる力を育む学校教育の充実に記載しています。</p> <p>人権教育は、多様化する価値観が混在する現代において、他と協働しながら、一人一人が自分らしく生きていくために非常に重要な教育であると考えており、これまでも外部講師や団体による人権教室を多くの小中学校で実施してきています。この度の学習指導要領の改訂に伴い教科化となった「特別の教科道徳」の授業を核にし、関連を図りながら、学校教育活動全体を通して人権教育</p>	学校教育課	無

番号	章・施策	頁	意見の内容	回答	担当課	修正の有無
			<p>は少なくなり、DV防止啓発に繋がるのです。結果、DVは社会からなくなるのです。米沢市独自の教育として、人権教育の時間を年に1、2度だけでもいいので、ぜひ、米沢市学校教育課からスタートしていただきたいです。各市町村のモデリングになる米沢市の教育をお願いします。DVのない米沢市、地域社会となることを切に願います。</p>	<p>を推進していきます。</p>		